

drupa に 3 機種

ミヤコシ

「drupa」（ドルッパ）が6月16～26日、ドイツ・デュッセルドルフの見本市会場で開催される。1～17ホールと屋外展示スペースの16万m²規模の展示面積となる、4年に1度の世界最大の国際印刷・メディア産業展である。前回の2016年は、54ヵ国から1828の出展社があり、183ヵ国から26万165人が来場した。主催はMesse Dusseldorf GmbH。

日本からは、富士フィルム、SCREEN グラフィックソリューションズ、小森コーポレーション、コニカミノルタ、リョービ MHI グラフィックテクノロジー、T&K TOKA など54社が出展する（2019年11月現在）。

ラベル、軟包装、トランザクション

（株）ミヤコシ（宮腰亨社長）は1月に次の3機種の出展を発表した。

間欠オフセットラベル印刷機

フレキシ・凸印刷機に対する代替エントリーモデルの間欠UVオフセットラベル印刷機「MEL13A」。オフセット印刷による高品質印刷で、ワイン、食

品、飲料品、化粧品、その他一般ラベル製品を小～中ロット生産するために設計した。ベストセラー機の「MLP」シリーズの技術を踏襲し、使い勝手向上のための紙粉除去装置、ユニットコッキング、自動インキローラー洗浄機能、インキキーリモコン、ダイカットギャップ調整機構、見当監視モニターなどのオプション機能を標準搭載した。印刷品質を維持しつつも価格を抑えた印刷機となっている。

世界的にロット数が減少する中、これまで印刷機の生産性の高さからフレキシ・凸版印刷機を使用している印刷会社に対し、生産性を落とすことなくさらに高品質なラベル製品を印刷することで、より競争が激化する印刷業界を生き抜く競争力を与える代替機また、入門機として提案する。

印刷天地サイズに関係なく、常に最高印刷速度である150ショット/分で印刷し、安定して最高クラスの生産性を提供。最高印刷速度は約49.5m（最大印刷天地サイズ330.2mm時）。インライン加工のニーズに対応するため、プラットフォームを開発。ラインアップに追加した。間欠方



間欠オフセットラベル印刷機 MEL13A

式であり、印刷天地サイズに関わらず同じサイズのブランケットを使用可能なため、ジョブごとの交換が不要。印刷準備コントロールとリピートデータにより、準備時間短縮と損紙低減をはかった。さらなる損紙低減のため、自動見当装置もオプションで提供。最大基材幅 350mm、基材厚み 50 ~ 300 μ m。

軟包装用カラー水性インクジェットプリンター

現在デジタル印刷機メーカー各社は軟包装市場へ向けたデジタル印刷機の開発を試みているが、印刷品質、食品安全性、ランニングコスト、生産性の全てをクリアするため、さらなる技術開発が必要な状況である。食品関係の製品を含む軟包装パッケージの少量多品種生産を強力にサポートする最先端のデジタル印刷ソリューションとして、水性顔料インクによるフィルム印刷機「MJP30AXF」を開発した。

1200 \times 1200dpi のプリントヘッドを採用し、高い印刷品質を図った。さらに軟包装向けの高濃度の水性顔料インクとプライマーの採用により食品パッケージ製品に必要な安全性と機能性も確保する。

インラインのコロナ処理、プライマー塗工、新開発の乾燥システムにより、フィルム基材に対して高いインク定着性を実現した。5色機で、インクジェットでの白ベタ2度刷りにより、高い隠蔽率とカラー彩度を図った。最少 12 μ m までの薄手フィルムへの機材搬送が可能で、最大 790mm 幅の基材にも対応。より多くの軟包装アプリケーションをカバーする搬送設計である。印刷速度は 50m/分。

カラーインクジェットプリンター

解像度 600 \times 600dpi のインクジェット (IJ) プリンターが主戦力となっている DPS (データプリントサービス)・トランザクション印刷分野においても、高い印刷品質を求められる昨今、一方では生産性のさらなる向上が求められている。そ



軟包装用カラー水性インクジェットプリンター MJP30AXF

のため、商業印刷市場向けの高品質モデルとは別に、DPS・トランザクション市場向けの新たな高速水性 IJ プリンター「MJP20XV」を開発した。

コスト・安定性が優位な非循環式 1200dpi プリントヘッドを採用。着弾精度の向上により、スジ・ヨレが軽減する。1200 \times 1200dpi の画質と印刷速度 250m/分の生産性 (1200 \times 720dpi 時) を合わせ持つ。また、画質・生産性の向上のみならず、これまでの IJ 市場での経験を結集させ、機能性・メンテナンス性の向上を図った。

テンションフィードバック機能、自動見当機能など見当精度向上のための新機能を搭載した。また、CMY 印刷ユニットからセパレート化させた K プリントヘッドを独立制御し、モノクロ印刷とカラー印刷を仕事に応じて使い分けることができ、フレキシブルなシステム運用が可能。ヘッドギャップ無段階調整を搭載し、64 ~ 300g/m² の薄紙・厚紙に対応。ヘッドアライメント左右データシフト機能を標準搭載しヘッドアライメント作業の負荷を大幅に軽減した。最大印刷幅 541.0mm、1200 \times 1200dpi 時最高印刷速度 160m/分。 ■



カラーインクジェットプリンター MJP20XV
(写真はイメージ。実際の製品とは異なる予定)